

ワクワク

親子招待



能楽鑑賞会

字幕解説付き

能「黒塚」の
各場面を
子どもたちに
わかりやすく
解説します。

抽選で
900名様を
ご招待



参加ご家族に1冊、
※「能の本」を
プレゼントします。
※監修・コラム:辰巳満次郎
(シテ方宝生流能楽師)



解説 講師 辰巳満次郎

演目 狂言 「**附子**」
シテ 野村 万禄

仕舞 「**敦盛**」
シテ 佐野 登

能 「**黒塚**」
午前/シテ 久貫 弘能
午後/シテ 石黒 実都

日時 2017
9/24日

午前の部 10:00~12:00 午後の部 14:00~16:00
※お席はお子様優先となります。

場所 **大濠公園能楽堂**
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1番5号
TEL 092-715-2155 FAX 092-715-2244

※1 保護者と小中学生(お子様3名様まで)900名をご招待します。

参加ご希望の方全員の氏名(フリガナ)・年齢(学校・学年)・
代表者の郵便番号・住所・電話番号をご記入の上、

- 応募方法
- はがき(下記参照)
 - FAX (092-715-2244)
 - メール (wakuwaku@ohori-nougaku.jp) の
いずれかでお申し込み下さい。

※1保護者お一人にお子様は3人まで

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-5 大濠公園能楽堂
「親子招待ワクワク能楽鑑賞会」係あて

※当選の発表は、招待状の発送をもってかえさせていただきます。

申込締切
9月1日(金)
必着



親子招待

2001年に世界無形文化遺産に最初に指定された「能楽」を親子で鑑賞しましょう。

ワクワク 能楽鑑賞会



解説 「黒塚」

陸奥国安達ヶ原で行き暮れた諸国巡礼中の熊野那智の山伏・祐慶の一行は、野中に粗末な小屋を見つけ、一夜の宿を借ります。家の中に見慣れぬ糸繰り車に目をとめた祐慶が頼むと、里女は自らの苦しい身の上を嘆きつつ、糸を紡ぎながら糸繰り歌を謡います。やがて夜も更け、冷え込みが厳しくなったので、女は山伏たちのために薪を取りに行ってくると言い、「留守中、決して私の寝所を覗かないでください」と頼みます。

ところが祐慶の従者のひとり是我慢できず、祐慶に戒められながらも、とうとう女の部屋を覗いてしまいます。すると、そこには……。

この能は「道成寺」「葵上」とあわせ三鬼女とよばれ、後シテが般若の面を用います。



解説 「附子」

ある家の主人が家来の太郎冠者と次郎冠者に留守番を言いつけます。主人は黒い桶を二人の前に置き、中にはその桶の方から吹く風にあたるだけで死んでしまう猛毒の附子が入っているので、決して近づかぬよう念を押して出かけて行きました。附子のがきが気になって仕方がない太郎冠者は、次郎冠者に協力させ桶の中を確認することにしますが……。

『沙石集』や『一休諸国物語』にも類話がみられる非常に有名な狂言です。

番組

解説 能「黒塚」のおはなし

辰巳満次郎

狂言 「附子」

シテ 太郎冠者 野村万禄
アド 主 吉良博靖
小アド 次郎冠者 吉住 講



仕舞 「敦盛」

シテ 佐野 登
地謡 田村 恭
山岡 晴美
田中トシエ
三澤 栄子

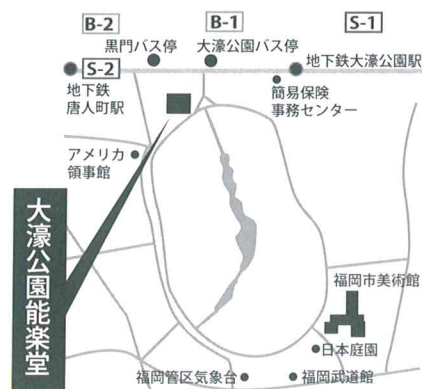


休憩

能 「黒塚」

前シテ (里女) 後シテ (鬼女) 久貫 弘能 (午前の部)
石黒 実都 (午後の部)

ワキ 祐慶 坂苗 融
ワキツレ 僧 坂苗 功
アイ 能カ 野村 万禄
後見 田村 恭 山岡 晴美
笛 相原 一彦
小鼓 横山 幸彦
大鼓 原岡 一之
太鼓 吉谷 潔
地謡 辰巳満次郎 杉岡 敏英
山内 崇生 福田 清道
中西 和夫



交通アクセス

地下鉄でお越しのお客様

[S-1]大濠公園駅から徒歩7分
[S-2]唐人町駅から徒歩7分

西鉄バスでお越しのお客様

[B-1]大濠公園バス停から徒歩3分
[B-2]黒門バス停から徒歩3分